

ニュージーランド 2024年最初のゼスプリ・キウイ専用船が出航

[PRODUCE PLUS 2024年3月14日](#)

2,500トンのキウイフルーツを積載したこの船は、今シーズン運航予定の63便のうちの第1便である

2024年のニュージーランド産キウイフルーツ輸出シーズンにおけるゼスプリの最初のチャーター船が、上海に向けてタウランガ港を出港した。

ゼスプリが2020年に命名した専用船コーファイ号は、中国の取引先向けの70万箱(約2,500トン)のゼスプリ・サンゴールド・キウイフルーツと、15コンテナのゼスプリ・レッドルビー・キウイフルーツを輸送している。コーファイ号と今シーズン2隻目のチャーター船ソレントスター号はともに、3月末に上海に到着する予定である。(訳注:「コーファイ」はニュージーランド先住民のマオリ語で「黄色」を意味し、サンゴールド・キウイフルーツを象徴しています。)

これは、ゼスプリが今シーズン、グリーン、サンゴールド、ルビーレッドの3種類のキウイフルーツ1億9,300万箱(約69万5千トン)の約半分を50か国以上に出荷するために使用する予定の63便のチャーター船の最初の船である。この便数は昨シーズンに使用されたチャーター船の51便より多い。ゼスプリによると、チャーター船は、航路の途中で他の港に寄港することなく輸出先市場に直行するため、より多くの果実を積み、より確実である。

今シーズンのチャーター計画では、船体の内部に果実を収納する冷蔵船を使用する。北欧向け3便、地中海向け14便、北米西海岸向け4便、アジア向け42便を予定しており、残りはコンテナで輸送する。

ゼスプリの最高執行責任者(COO)であるジェイソン・テ・ブレイク氏は、良好な生育期間の後で、シーズン最初のチャーター船の出港は、この業界において常にときめく瞬間であると言う。(以下「」は同氏の発言)

「毎シーズン、出荷計画を実行に移し、ゼスプリのキウイフルーツを世界中の市場に届けることを楽しみにしている。今年は特に生産量の増加が見込まれているのでなおさらである。」

「我々は、収穫量が多い今シーズンの出荷計画において、高品質な果実を出荷期間を通じて安定的に取引先や消費者に提供するために、業界としてどう対応するかに重点を置いた。」

同氏は、今シーズンの計画の重要な取組みの一つは、販売期間の序盤に良い果実を取引先に供給できる産地の確保に注力することであると述べた。

「天候は完全に良かったわけではなく、収穫は予定より少し遅れているが、シーズン中うまく出荷することができると確信している。」

「最初のチャーター船が航行中で、これからのシーズンに向けて大変期待しており、今後数週間から数か月にわたって、チャーター船とコンテナ船の両方がタウランガ港からヨーロッパ、中国、日本など50以上の市場に向けて次々と出航することを楽しみにしている。」

同氏は、ゼスプリは世界の海運環境を引き続き監視しており、チャーター船とコンテナ船の運航計画を通じて今シーズンの収穫物を届ける同社の能力に自信を持っていると述べた。